

(第71号)

The School Health (No. 71)

昭和43年2月29日発行
(隔月発行)

発行日本学校保健会

可児 重一

東京都港区芝西久保
明舟町10
電話(501)3785

振替口座東京 98761

印刷所 伊東進歩堂

頒価1部35円(送料共)

学校保健

財団法人 日本学校保健会 会報

教育の目的は、人格の完成を成すことである。そのためには、健全な心身の育成を期し、健康な国民の育成を期し、行なわなければならない(教育基本法)

群馬での全国学校保健大会は、戦後の大会のもちかたのすべてをとり入れたようたしかたであった。しかし愛媛(松山)での大会は、学校保健研究大会という班別研究協議を主要な内容とするもので、参加者全員による全体協議ならびに各職域別の研究協議は、文部省主催の立場では行なわれなかった。

何千人という多数の参加者による問題別の研究協議には、班別研究協議による以外には方法がなく、しかも問題別ということは、学校保健に関係するすべての職域が、一つの問題について研究協議すべきであることは、理の当然であろう。

ただ年一回の学校保健関係者の全国集会であるので、そこには種々の願いがあはれずである。その一つに、学校保健についての全国的な世論の結果があり、それが、全体協議というよな型式として従来すめられてきたこれは比較的やりやすい日本学校保

時評 学校保健大会と各職域

理事長 湯浅 謹 而

健康主催というような立場ですすめべきであったようにも思われるのであって、松山では暫定的に学校保健会の全国連絡協議会というような立場で、ごく少数の人人によって、県庁の講堂で開催した。今後は、従前の全国学校保健大会全体協議会のようなものとして成立させたいものだと思ふ。

問題として残るのは、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保健主事、養護教諭等の各職域の研究協議大会のもちかたである。戦後のごく初期には、これら各職域ごとの分科会を今日の班別研究協議のかわりにとりあげている。現在のように、班別研究協議によって全国大会が構成され

しかも、各職域がそれぞれの全国的会合も希望するとなれば、これまた、日本学校保健会主催の、大会全参加者による全体協議の分科会としての立場をあわせて、各職域の全国集会をもつのがよいのではないかと考へておかげあげられている。ただこれら各職域別の全国的組織は、日本学校保健会の内部組織としては存在していないので、それぞれの全国組織と日本学校保健会が共催しなければ実績があらぬという点を考へておかげあげなければならない。この点、一般に案外知られていないので少し詳しく申しておく必要があるのではないかと考へる。

例えば、日本学校保健会に、学校医部会あるいは養護教員部会等がある。しかし、これらは少数の専門委員会のようなもので、全国の学校医や養護教員の全部をもちらしたものではない。従って、学校医だけの全国組織は別に日本学校保健会の外に

おかれ、養護教員だけの全国組織も日本学校保健会の外におかれているし、おかれるべきである。各都道府県や指定都市の学校保健会の立場では、このことが分りにくいかもしれないが、この通りなのである。つまり、日本学校保健会が、都道府県や指定都市の学校保健会そのもので構成されているだけなのである。

しかし、各職域によって、都道府県や指定都市の学校保健会は構成されているのであるし、また各職域の努力と協力によってのみ、全国の学校保健の発展と繁栄はあるのであるから、各職域の全国的組織推進は、日本学校保健会の立場からも願わしいことである。

今後、全国大会等の機会を通して、真に民主的組織的に各職域の推進がなされ、日本学校保健会と表裏において活躍されることを望みたいと思ふ。各都道府県の内部において、どのような職域組織の構成運営がなされ、それが、どのようにして全国的な構成運営につながっているのかについても、適確な資料を得ねばならないと考へている。このような組織の推進が、一部の同志的なものであつたり、規約軽視があつたりしてはならないと思ふ。組織の推進のしかた自体に、学校保健の盛衰がかかっているといつてよい。

松山の全国大会は、群馬大会とは大きく構想を異にするものであつた。その是非を論議するのもよいが、むしろ、われわれは、今後の学校保健の振興に対してどのようなことを考へ、どのようなことをなさねばならないだろうか、いやどのようなことができるかということこそ、目下の

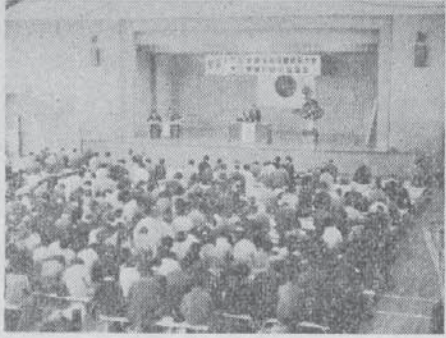
問題ではないかと考へるものである。そして、いつも効果的なたたをとりたいたいと思ふ。新しい全国大会への歩みの中に、学校保健関係者の全国的な組織の確立への再検討があつたとするならば、これまた意外の収穫というべきではないだろうか。

今日、日本学校保健会も、また学校保健の世界そのものも、経済的にはまことに恵まれていない。しかし、人には恵まれていないのではないだろうか。すべての教育者をもちらし、医師・歯科医師、薬剤師の大部分をもちらし、全国総人口の二割以上の児童生徒と彼等の父兄がもちらされているのである。ただ、これらぼう大な人間の集まりが学校保健の立場から、どのように組織されているか、どのように動いているかが問題である。金や予算が先か、仕事が先か、いや人が先か、というようなことはいまでもくりかえすまでもあるまい。公衆衛生の世界的権威者であるウィンスローはいつている。う合の衆に健康はないということである。

われわれは、このような立場に立つて、もう一度、年一回の全国大会を考へよう。

本号内容

- ◆ 学校保健大会と各職域
- ◆ 第17回全国学校保健大会を顧みて
- ◆ 学校保健団体連絡協議会報告
- ◆ 全国大会における各職域協議会
- ◆ 本年度叙勲・褒章受者
- ◆ 本年度文部大臣表彰者
- ◆ 全国大会に対するアンケート回答
- ◆ 評議員会報告
- ◆ 本会ニュース



第3領域(保健管理)研究協議



開会式(大臣表彰)



全国大会主会場正門

第17回 全国学校保健研究大会報告

「学校保健を推進し、国家社会のに
ないてとして、たくましく明るい児
童生徒を育てよう」の標題のもとに
北は北海道より南は沖縄にいたる実
に三三五八名のこの道の権威ある先
生をはじめ、志を一にする会員のみ
なさんが、8領域49班7会場にわか
り、本県みぞうの大会としてまがり
なりにも開催し得ましたことは、今
後の本県学校保健の充実進展を考え
まして、実に得がたき機会であり感
激の極みでございました。

研究大会を顧みて

愛媛県教委保健体育課長
大会実行委員会事務局長 門屋 賢一

校を協力校とし、県下800校各校1題
の研究テーマを制定推進をはかって
参りました。また大会事務局といた
しましては、大会開催を一層有効適
切に運営するため120回にわたる諸会
合、延べ四九一八名にのぼる関係者
の動員等本県あげての大会準備とな
りましたが、その結果県内の組織体
制も活発化し、研究のすすめ方も明
確となり、特に県内各校及び関係者
の意欲が一段と飛躍いたしましたこ
とは、何にもかえがたい収穫でござ
いました。ここに誌上ではあります
が厚くお礼を申しあげる次第でござ
います。

された貴重なものが多く、協議が自
然白熱化し、閉会を惜しむ会員すら
あったことは有難いことであった。
(2) 司会者を重視した。
班別研究協議の中核をなすものは
司会者であるため、県内における中
間発表大会、ブロック別研究発表大
会、県大会と、機会を設け参加を求
め研究を願うとともに、中国四国ブ
ロック大会にも多く参加を願った。
また本大会参加会員による事前研究
資料を重視し、一堂に参集を求め資
料をおわたしし、事前に十分研究を
願えるよう対策を講じたため、より
効果的な運営ができた。

先輩開催者の心か
らなる温かい協
力とその実績を見
習い、文部省の適
切なるご指導ならびに日本学校保健
会のご理解とご協力、中国四国ブロ
ックの声援等によりまして、微力な
がらも駄馬に鞭うち、ご期待にそう
べく懸命に努力いたしてまいりまし
た。

事前研究資料は大会当日会員相互
で交換するとともに、司会者は班別
研究協議に提出された資料全部にわ
たり発言の機会を与え、全面的に活
用したため、参加会員全員の発言が
あり、極めて活発な協議が展開され
た。従来ややもすれば軽視されがち
のこの種の資料のあり方に活路を開
いた感があり、また発言もより具体
的なもので、現場における創意工夫

現場に直結した助言者を多く登用し
たため、より身近かな生きた助言が
行なわれた。
(4) 発表方法の制限を除いた。
スライド等の活用を多くとりいれ
たため、発表者は短時間のうちによ
り効果的な発表ができた。
(5) 特殊教育、へき地教育を重視した
特殊教育は従来特殊教育に限られ
た感があったが本大会では普通学校
の会員の参加をも要請したため、と
かく忘れがちになっていた境界線児
童生徒(ボーダーライン)の対策を
重視した協議が展開され、またへき
地学校を山間へき地(次頁に続く)

P-1

お子さまを強く大きく!
パンビタンペレ
パンビタンペレ
チョコレート



タケダ薬品

しゃぶっているだけで、お子さまの成長に必要なビタミンが補給できます

他に...ご家族の健康に 強力パンビタンA・忙しい方に 強力パンビタンゴールド・赤ちゃんの成長に パンビタンA液

日本学校保健会主催

学校保健団体連絡協議会

都道府県
指定都市

日時11月24日・26日会場 愛媛県庁大会議室

今回の全国大会には、従来の全体協議が日程中に含まれていなかったが、同協議会開催についての希望が多く、大会諸準備にずつとおくれて急に計画し、本会主催で本題目のような協議会を開催した。協議題及び参加者氏名は本紙前号掲載、参加申込者は59名であったが、実際の出席者は約150名で、両日とも予想外に熱心な討議が展開された。以下その概要を掲載することとする。

議長

第1日午後 愛媛県学校保健会長 笠置 正義氏
第2日午前 群馬県学校保健会長 羽生田 進氏

午後

岐阜県学校保健会長 服部 貴芳氏
本会 理事 長 湯浅 謹而氏

指導者

岡山 保健教育計画がなされているか。小中学校の統一された効果があげられているか。
湯浅 昭和45年度より施行の教育課程改訂の動きについて、教科の基本的事項を精選し、特活、学校行事については、弾性的のあるものにするよう、また保健計画実施要項を改訂するよう要望している。

長崎 へき地巡回診療に対する国庫補助の大幅増額を要望する。本県では補助金の関係から、へき地巡回は実施できにくい。
湯浅 へき地教育振興法によって、文部省は補助予算を要求している。へき地の保健管理に要する費用につ

湯浅 成人病については学校保健法に血圧だけがはいっている。学校保健法の改正が必要である。
茨城 就学時の健康診断を効果的に実施するにはどうしたらよいか。
湯浅 これについては文部省内部でも要望がある。また教育行政の立場からも問題がある。

東京 学校における性教育について指導領域及び指導内容の明確化をはかられたい。小学校については、校医養教等が色々な指導書でやっているが、精神肉体系とも発達しているので指導法を明確にしてほしい。
湯浅 これは現在主要な問題となっ

(前頁に続く)と海辺へき地にわかれ、地域環境に相応したより深い研究がおこなわれ成果をおさめた。
(二)研究大会の性格の明確化
①職域大会を別ワクとして開催した各職域部門の理解と協力は、学校保健の充実発展をはかるうえから極めて重要な要素である。
本大会開催にあわせて職域部門(保健主事、養護教員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師)の協議大会を別ワクとして開催願ひ、各職域独自の立場を強力に進めるよう考慮し、成果をおさめた。(2)全体協議・陳情決議等は日本学校保健会事業として、別ワクで開催した。

本大会は、文部省の主催であると同時に日本学校保健会の共催である関係上、本年度から研究大会として発足したこの機会に、日本学校保健会の単独主催で全国学校保健団体連絡協議会がかわせ開催されたことは、機軸として尊重され、今後強力に進められなくてはならないと思われる。

二、各都道府県指定都市の参加割当ワークショップの形式をとる本研究大会として、過去の参加実績を踏襲した場合、各班とも参加者が極めて多く、また一教室での収容人員にも制限があり、研究協議の運営及び内容的にも多数のため充実したものとして期待し難く、必然的に参加会員の縮小を要求され、各県への割当減少を願わねばならない。
一方過去大会参加実績の少ない県は過去実績を尊重すると、会員増はなかなかむずかしく全国各地隅々まで学校保健のより一層の充実徹底をはかる趣旨からも問題点とならう。
このようなことを考慮して、今回は各県割当を最低20名としたため、総計において例年をうまわり、各班とも60名をこす会員となり、当初計画の45名-50名の標準が破れ、各参加会員の皆さんにぜひ分ご迷惑をおかけする結果となった。この点主催者としてどうしたらよいか強く再検討を加えるべき問題であるうと考えられる次第である。

ている。従来の経過は、昭和24年の中高校に保健体育科ができ、アメリカ教育と同内容のものとなった。性教育に対する指導層の認識が不足である。男女共通の学習内容として示すか、男女別として示すかによって異なった内容とし方がある。この点を考慮して性教育の方法を正確にせよとの要望が全国的にある。
議長 文部省に強く要望することにする。
茨城 学校環境衛生検査器具整備補助金を継続するよう要望する。この補助金は42年度で打ち切りとなっ

る。本県では、93市町村のうち整備されている市町村は23にすぎない。また補助金を9から8にしてほしい。
湯浅 要望するだけでなく、まず府県の予算措置が必要である。
熊本 本県では2-3%の充足状態である。
宮城 8点1括購入でないようにしてほしい。
秋田 学校に器具がないので、薬剤師の活動に熱意を失なう。
議長 この補助金を継続するよう強く文部省に要望することとする。
(以下次号掲載)

学童の保健栄養剤



完全乳化
効力安定

カワイ肝油ドロップ

製造発売元

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2-51-8

職域別研究協議会報告

全国学校医大会

期日 11月25日 ゴ5時

会場 ホテル奥道後

参会者 約三五〇名

開会へき頭、昨年の全国大会の際全日空機の事故により急逝せられた故岡田先生の遺影に一同黙禱をささげて議事にはいった。

日本医師会学校保健専門委員会羽生田委員長により、同委員会の今日までの研究協議事項の報告があったが、「学校保健の概念」と「学校医のあり方」についての詳細な報告は、傾聴に値した。また会員の中から、「公務執行の範囲」についての質問があった。これには岩尾日本学校医会長から答弁があった。

意見発表が七題あった。愛媛牧野は、学校給食に学校医の意見がほとんど反映していない点を指摘し、学校医は積極的に学校給食の改善に参画すべきであると強調した。京都太田は「私立学校における学校医の問題点」で、学校医の必要性和学校保健に対する姿勢を反省すべきであると主張した。香川永井は「全県下児童生徒に実施せる心臓病の一斉検診について」を報告し、そのなかでもっとも重要な検診の事後処置も徹底的に実施し、さらに将来の実施計画まで発表した。氏の学校保健に対する熱意と努力には服敬のほかない。その他紙上発表として、東京都市学校保健会長の「学校保健会の本質」

職域別の研究集会は、第17回全国学校保健研究大会の日程に含まれなかったため、各職域団体主催で開催された。以下概況を報告する。

大阪府学校保健会長谷川外4氏の、「大阪府の学校健康診断の技術的基準とその実情、特に心臓検診と腎臓検診」第12回九州ブロック学校医会シンポジウム「学校における循環器疾患について」の報告書、「秋田県における学校保健の改善向上」に関する意見書、富山・石川・福井三県よりの提案「文部省の体育局を健康教育局に改め学校保健の強化を図るように要望する」などが配布された

決 議

昭和42年度全国学校医大会開催に当たり、吾人は現下学校保健の重要性に鑑み、その推進に当たるとも、児童生徒に対する保健管理と、教職員に対する保健教育の必要性を刻下の急務と認め、これが実現に努力を傾注することを誓う。

要 望

一、文部省及び地方教育委員会は、学校医の身分保障について時代に適應せる態勢を早急に確立すること。
二、教育大学に、学校保健を必須科目とすること。
三、養護教諭を完全配置すること。
右決議書と要望書は、日本学校医会の手により、12月15日文部省学校保健課に提出された。

なお本大会は文部省、日本学校保健会、愛媛県教委等とは関係なく、医師会独自の主催であったので、本大会だけの出席では公務執行に該当しないものと思われる。

全国学校歯科研究協議会

期日 11月25日 ゴ4時

会場 愛媛県歯科医師会館

参会者 一一〇名余

東京歯科大教授竹内光春氏の「合成樹脂によるウ蝕予防填塞について」の講演があり、会員から熱心な質問があり、この問題を学童に適用することについての討議を展開した。終つて、バスで松山市の浜作に移動し、午後六時から盛大な懇親会が開かれた。一同は地元役員の至れり尽くせりの設営に松山情趣を味わいながら、学校保健進展へのビジョンを語り合い、次の大会での再会を約して午後九時盛會裡に散会した。

全国学校薬剤師大会

期日 11月25日 ゴ5時

会場 松山市民館

本大会は、日本学校薬剤師会創立15周年記念大会であった。村上・近藤愛媛県学校薬剤師会理事と永山日本学校薬剤師会副会長によって、15周年記念行事にふさわしい表彰式が行なわれ、日本学校薬剤師会賞と内外の功労者41名に対する感謝状が贈呈された。続いて永山副会長から、昭和5年以来30数年間の学校薬剤師の歩みのあとの解説があった。

日本学校薬剤師会賞受賞者

中村泰三(東東) 高松和幸(神奈川)
大路善次郎(大阪) 山田専一(島根)
柴田伊津郎(福岡) 水野大二(千葉)
室林 貞一(富山) 北村頼行(奈良)
松下 康男(香川) 青木 達(熊本)
創立15周年記念感謝状贈呈者

- 佐藤 彰 (岩手) 菅野三郎 (神奈川)
- 坂口市造 (東京) 三雲隆三郎 (東京)
- 大田清好 (富山) 沖勘六 (愛知) 横
- 井北海雄 (同) 山治長太郎 (大阪)
- 十河正勝 (香川) 山田栄八郎 (愛媛)
- 西嶺二 (熊本) 菰田太郎 (東京) 佐
- 々木元 (同) 村田敏郎 (静岡) 鈴木
- 誠太郎 (東京) 河合友彦 (同) 岩尾
- 裕五 (同) 佐谷戸安好 (茨城) 神保
- 広吉 (東京) 補久保五郎 (同) 小林
- 泰朔 (同) 佐野幸雄 (静岡) 石坂音
- 治 (愛知) 金子太郎 (兵庫) 村岡シ
- ズエ (大坂) 広瀬秀雄 (香川) 四島
- 久 (福岡) 末永泉二 (東京) 児玉威
- (神奈川) 加賀谷洋蔵 (千葉) 山口
- 虎夫 (東京) 湯本芳雄 (同) 沢村良
- 二 (同) 小瀬洋喜 (岐阜) 牧殿 (愛
- 知) 吉門輝雄 (大阪) 近藤安治 (広
- 島) 戸井有綱 (愛媛) 早川政雄 (福
- 岡) 岩戸武雄 (東京) 井上哲男 (神
- 奈川) 以上41名、

学校薬剤師のあゆみ

1. 昭和5年4月東京市麹町区に区の嘱託として始めて学校薬剤師が誕生し、その翌年から市内の各区並びに全国の主な都市に次第に設置されるようになった。
2. 昭和11年名古屋市中に、昭和25年に愛知県に各々市および県の条令によって学校薬剤師の身分が確立され、その後岐阜その他の県も右にならった。
3. 昭和25年第1回全国学校保健大会が福岡市で開催された時の全国学校薬剤師大会で日本学校薬剤師会が創立された。
4. 昭和27年4月東京都において、学校薬剤師の必置制が実現した。
5. 昭和29年7月学校教育法施行規則によって学校薬剤師の身分と職務が



ブルーデーにもはれやかな笑顔をお約束します

- モレ・ニジミの心配がない。
- 水に解けやすくなっています。
- 日常活動はもちろんスポーツも大丈夫。
- ソフトな肌ざわり。

さわやかなブルーデー (生理相談つき)

イズン ナプキン

家庭用 (薄手30コ入)・化粧箱 (厚手8コ・薄手7コ入)

山之内 山之内製薬 東京日本橋

規定され、所謂学校薬剤師の法制化が実現、学校薬剤師が始めて国の制度となった。

6. 昭和29年文部省の主催による「第1回学校薬剤師講習会」が開催され、その後文部省後援日本学校保健会および、開催地都府県教育委員会の開催で毎年開催され、本年は名古屋市内において第14回講習会が開催された。昭和33年4月学校保健法が公布され、現在の学校薬剤師の制度が確立された。

8. 昭和34年学校薬剤師の参考書として「学校環境衛生基準・解説および検査指針」が日本学校薬剤師会から発行され、これが普及徹底のため、日本薬剤師会主催の講習会が全国各都道府県で開催された。次いで26年「学校薬事衛生の解説」が同じく日本学校薬剤師会から発行された。

9. 昭和36年4月から学校保健法により全国に学校薬剤師の必置制度が実施され、現在の設置率は90%を越え学校薬剤師の実数は一、二〇〇名を越えた。

10. 昭和39年6月学校環境衛生の基準が文部大臣に答申され、前田局長の通知によって公布された。
11. 昭和40年9月学校環境衛生基準の一般学校保健関係者用の解説書「学校環境衛生の解説」が文部省から発行された。

12. 昭和40年度から42年度まで3ヶ年間学校環境衛生の基準に伴う学校環境衛生検査器具を市区町におに整備するための国庫補助金が市区町に交付され、検査器具が全国に広く整備された。
13. 前項と併行して昭和40年度から42年度まで文部省および開催地の教育

全国保健主事 研究協議会

期 日 11・24
会 場 松山市道後温泉センター
参 会 者 県外83名、県内88名
研 究 協 議 題

1、学校保健振興のため、保健主事がこれに専念できるようにするにはどのようにすればよいか。
2、大学入試の健康診断書の取り扱いはどうか。
3、全国保健主事研究協議会のあり方について

4、保健主事の資質向上のため長期講習、または大学等での内地留学の措置を講じてもらいたい
岩手県川舟小学校 武田 功

1と4は保健主事の任務、研修の問題であり、保健主事としての校内の組織作りや負担軽減、保健主事の向上に對する認識の高揚、資質の向上に關するものであり誰しも痛感している重要なことで意見も積極的にあること、要望書にその趣旨を入れることにする。
3の問題は何故全国研究大会日程の中で行われなかったか。このこと

は参加者も少なくなり盛り上りも減るのではなからうか。また主催に文部省教委も加わってほしいとの提案理由であった。主催問題については事務局から経過を説明、又大部のものも感じているので要望書に入れることにする。
2の問題も保健主事任務の軽減、事務能率から考えても関係当局に要望する必要があることを認める。
要望書提出について
熱心で且積極的に研究協議した結果、次の要望事項を全議員一致で承認、関係当局に提出することになった。
要 望 書

一、学校保健の中心となる保健主事の重大な使命にかんがみ、全国学校保健主事研究協議会においては、文部省並びに所管各都道府県教育委員会が主催に加わり、その振興をはかるべきである。
一、保健主事がその任務に専念し、学校保健を推進するためには負担の軽減を考慮すべきである。
一、大学入試のときの健康診断書はX線以外については、定期健康診断のうつけで認めてほしい。
一、保健主事資質向上のため長期講習会の開催、内地留學生の措置を講じていただきたい。

全国養護教員 研究協議会

期 日 11月24日(日)1時
会 場 愛媛県立松山東高等学校
参 会 者 約二〇〇名
研 究 協 議 題

一、高校生における傷病状況について
兵庫県立星陵高校 山下花江

二、健康観察について
広島市立比治山小 竹島直枝
三、小学校における性教育の一考

東京都中野区立仲町小 徳江政子
それぞれの発表は、研究結果の積み重ねであり、いずれも立派な研究物であった。

協 議 題

一、健康診断票を義務教育の期間中使用するよう法令で定められたい
東京都 浜田鶴子
二、学校における保健管理の充実をはかるため、養護教諭の全校配置について
宮城県 小林しき子

三、養護教諭の職務内容の明確化について
(1)養護教諭の養成機関の拡充
国立の四年制課程の大学を設置すること
(2)養護教諭指導主事をおくこと
各都道府県教育委員会に養護教諭の指導主事をおくことを要望する

徳島県 武市ミチコ
四、学校における性教育について
指導領域及び指導内容の明確化をはかられたい
東京都 堀内フミ

講 演
演 題 養護教諭の当面する問題について
講 師 金沢大学名誉教授 村上 賢三先生

この研究協議会は県教委の諸先生のご指導と地元会員諸氏のご協力により、十分に成果をあげることができた。

よい子のビタミン

総合ビタミン・ミネラル剤

小粒 **ポポン-S**



シオノギ

シオノギ製薬

神経・血液疾患に

新発売

神経への親和性が高い

Co・B₁₂

補酵素型ビタミンB₁₂製剤
コバラン

注・カプセル
イタリービエレル社提携品

純良医薬



第一製薬

本年度 褒章受章の荣誉に輝やく人々
学校保健功労者

- 〇勲五等旭日章 立花 半七氏(茨城県)
大宮町立大宮小学校・学校医
〇勲五等旭日章 榎原 吉輝氏(長崎県)
芦辺町立那賀小学校・学校医
〇勲五等旭日章 大塚 貞夫氏(青森県)
弘前市立第一大成小学校・学校歯科医
〇勲五等旭日章 石浜 文郷氏(新潟市)
新潟市立沼垂高等学校・学校医
〇勲五等旭日章 花岡林之輔氏(長野市)
長野県立長野市立高等学校・学校医
〇勲五等旭日章 宮田元平氏(静岡県)
御殿場市立御殿場小学校・学校医
〇勲五等旭日章 佐藤桃太郎氏(福岡県)
吉井町立吉井中学校・学校歯科医
〇勲五等旭日章 玉城 三郎氏(徳島県)
名西郡阿川小学校・広野小学校・学校医
〇勲五等旭日章 長谷川福市氏(会津若松市)
若松市立湊中ノ原・双各小学校・学校医
〇勲五等旭日章 池田覚三郎氏(群馬県)
南牧村立盤戸小学校・学校医
〇勲五等旭日章 榎原 義人(熊本市)
熊本市立城東小学校・学校歯科医
〇勲五等旭日章 渡部 重徳氏(東京都)
世田谷町立松陰幼稚園・学校歯科医
〇勲五等旭日章 本田 銃咲氏(浜松市)
浜松市立蒲小学校佐藤小学校・学校医
〇勲五等旭日章 山内 貞二氏(名古屋)
名古屋立菊里高等学校・学校医
〇勲五等瑞宝章 永山 芳男氏(東京都)
千代田区立錦華小学校・学校薬剤師
〇勲五等旭日章 御手洗信夫氏(大分県)
蒲江町立小学校・中学校・学校医
〇藍綬褒章 梅原 彰氏(青森市)
青森市立橋本小学校・学校歯科医
〇藍綬褒章 引地 忠男氏(宮城県)
白石市立第一小学校・学校医
〇藍綬褒章 大屋 正夫氏(島根県)
三隅町立岡見小学校・学校医

第17回全国学校保健研究大会
文部大臣表彰の学校ならびに功労者

- ◇◇学校保健関係
◇学校医(26名)
楠二夫(山形県新庄中) 六郷竜止
(宮城県築館小) 阿部亮定(岩手県
東山町立長坂小) 中川潔(熊本県鹿
本高) 宇野誠一(兵庫県神戸市立成
徳小) 五十嵐貞蔵(神奈川県横浜市
立石川小) 中川正儀(神奈川県川崎
市立住吉小) 片山寿(和歌山県海南
市立黒江小) 小川博(静岡県藤枝東
高) 渡辺篤(山梨県甲府市立富士川
小) 高木起作(埼玉県川口市立元郷
中) 堀三造(愛知県設楽町立田口小)
森茂樹(岡山県上道町立浮田小) 池
内光治(兵庫県姫路市立城北小) 羽
生田進(群馬県前橋一中) 松岡健雄
(香川県高瀬町立比地小) 松尾里治
長野県坂城中) 斎藤信輔(佐賀県三
根西小) 渡辺勲(東京都葛飾区四ツ
木中) 中井善一郎(大阪府府立登美
丘高) 宇野菊三郎(大阪府市立精華
小) 奥岩吉(京都市市立西京商業高)
笠置正義(愛媛県松山市立番町小)
小野定男(青森県弘前高) 倉彦市(奈
良県生駒小) 林興吉郎
◇学校歯科医(12名)
川原武夫(石川県羽咋市栗ノ保小)
小倉正朝(栃木県大田原小) 菅田晴
山(富山県富山工業高) 高木健吉(広
島県皆実高) 島田浅吉(東京都大田
区立相生小) 岡林盛枝(高知県高知
市立愛宕中) 相沢幸一(新潟県高田
高) 平山孝一(千葉県市川市川五中)
三宅久夫(鹿児島県日新高) 奈良隆
之助(秋田県秋田北中) 村田清起(滋
賀県大津市立平野小) 西利吉(岐阜
県高山市立山王小)
◇学校薬剤師(4名)
原田浅雄(愛知県名古屋市立堀田
小) 後藤憲太郎(北海道旭川市立光
陽中) 佐藤善介(茨城県岩間町立岩
間第一小) 長野義夫(福岡県北九州
市立穴生小)
◇養護教諭(7名)
坂本ハル(京都府綾部市立奥上林
小) 筆田喜美子(徳島県徳島市立内
郡小) 大田ハル(福島県福島大学教
育学部附属小) 橋トメコ(長崎県長
崎市立日見小) 都築ハルエ(山口県
下関市立日新中) 岡初(三重県久居
農林高) 大西マツ子(島根県松江
市立雑賀小)
◇学校(3校)
東京都八王子市立加住小・大分県
県立日田林工高・福井県武生三中
◇学校安全関係 (23校)
宮城県仙台市立北六番丁小・東京
都大田区立小池小・香川県善通寺市
立中央小・岐阜県大垣市立西小・京
都市醒泉小・秋田県秋田市立旭南小・
神奈川県平塚市立大野小・栃木県宇
都宮市立西小・岡山県倉敷市立味野
小・広島県因島市立田熊小・奈良県
五条市立五条東中・福島県いわき市
立平二小・滋賀県野洲西小・福岡県
宮田南小・千葉県習志野市立鷺沼小・
鳥取県岩美町立大岩小・熊本県熊本
市立五福小・石川県加賀市立錦城中・
山口県光市立光井小・鹿児島県名瀬
市立朝日小・愛知県名古屋市立西山
小・群馬県伊勢崎市立北小・新潟県
新井市立新井中

強力な殺菌、消毒、漂白、脱臭剤

日本学校保健会御推薦品



日曹ハイクロン

厚生省指定法定消毒薬
食品添加物合成殺菌料

- 主な用途
〇プールの水の消毒と藻の発生防止
〇プールの底壁、便器、脱衣室の床の消毒
〇簡易水道の水の消毒

- 〇貯水池の藻の発生防止
〇学校のプール、食堂、食器、汚水溝等
の消毒、殺菌、脱臭

日本曹達株式会社

本社 東京都千代田区大町2の4 (211) 2111
大阪支店 大阪市東区北浜2丁目9 (203) 3151

昭和42年度愛媛大会アンケートの回答

第17回全国学校保健研究大会についてのアンケート回答を、以下着順に発表することとする。

アンケート

1. 大会の運営一般その他について
2. 班別研究について
3. 連絡協議会について
4. 職域協議会について
5. 全体協議会の可否について

◇兵庫県(1)実行委員会、文部省、日本学校保健会から前後して案内があり、その上職域団体よりも案内があったが、統一通知がほしい。(2)班別研究の参加数を過去の実績によって決定することをやめてほしい。本県は最低数であった。過去の実績をもとにするかぎり、永久に参加数が増加しない。班別研究では参加者が主題に対する研究不足のため、つまみ食いになりがち。発言が少なく、特定少数意見が全体の意見のようにとりあげられた。(3)地方の学校保健会の運営、各職域の問題点について、各府県の実態を交換できる場に発展させてほしい。(4)各職域とも内容が貧弱であった。問題点を十分に時間をかけて研究討議する場にした。総会なのか研究協議会なのか性格がはっきりしない。(5)領域別協議は参加者が激減し、開催の意義が失われた。報告のていどならば後日の報告書に譲ってよい。

◇京都市(1)班別研究では、保健教育に重点がおかれたようで、そのためか学校三師PTAは浮いてきた感があった。七職種に対する配分を考

えたい。(2)連絡協議会は非常に成功であったが願くは保健研究大会の一環であって欲しかった。その意味で評議会をこれに当てるは如何(3)職域部会は本会の下部組織であるという認識の下に、その運営にも育成にも、もつと本会との連携が密であって欲しい。(4)全体協議会は民主的運営の趣旨から、また全員の意向を総括する意味において、あった方がよいと思う。但し会員数が余りに多いので、構成メンバーは各種の団体組織のもつと人員をふやし、全役員代表者に限定しては如何。

◇東京都(1)領域協議会にひきつづいて、特別講演閉会式とこない、最終日に出席者が激減する。全体協議のないことも手伝わっているかもしれない。(2)班がこまかすぎる。(3)領域(テーマ)をしばって、研究集会に必要にしてはならぬ。(4)全体協議会には必要

◇群馬県(2)については、ここで全部討議はできないので集中的に実施し、一日でよいのではないかと思われる。(3)あらかじめ研別(班別)と並行して行なうようにし研究会の中に位置づけしてほしい(日本学校保健会共催なのである)(4)講演中研究中前日等でなく同一日時に行なう方が研究大会を阻害することが少ないのではないか。(5)氣勢をあげるといふのでなく全国の学校保健関係者の叫びをまとめたい。保健の問題は政治的解決の必要なものが多い。

◇鹿児島県(1)開催の大会運営における誠意に好感がもたれた全体運

営委員会はあまりに形式的ではなかったか、愛媛県参加者の研究態度はりっぱであったが、研究を中心とした協議のみでは地域差の問題や行政・経済的対策についての盛りあがり期待できないのではないか。(2)個人の希望と人員制限の問題で、出席者の選考に苦勞した。県外参加者は資料を提出させ人員の制限にもやはり良心的な参加者が少なかった。(3)並行に行なうよりも時間的に班別研究と区別して大会日程におり込むべきであろう。(4)行政関係、校長グループなど範囲を拡大して同時に日程におり込んで開催できないものか。(5)必要であると思うが、運営のしかたはじゅうぶん検討すべきである。

◇石川県研究大会と名称は変わったが全体協議会が省かれただけで従前と変わりばえがなかった。(2)助言者・司会者はベテラン揃いで参加者も熱心に、しかも活潑な協議がなされた点はよかった。(3)これまでになかった都道府県学校保健会の横の連絡ができたことは、いささかの進歩ではあるが期待した割に成果はあがらなかった。会そのものもち方にも問題はあがるが討議された内容更にくれらの問題をどう積みあげていくか、その方法方向があまりで力がなかった。(5)全体協議会は、形式的に流れていた感があるので必要がないと思う。

◇香川県(1)全国でもまれな大研究会であるにもかかわらず全体の計画・運営共に手際よく、極めて感銘の多い研究会であった。(2)眼屈折の部会であったが、眼科医を混え熱心な討議が最後まで続けられ、みのり多き研究であったと思う。今後は指導

者に専門医や学識経験者を加えては。(5)保健関係者には努力すれど認められずという側面があるので、全体会を持ち、多くの意見を聞くようにすることが望ましい。

◇静岡県(1)会場の選定、事前の要項配布等よかった。なほ宿舎との連絡宿名のしらせ、受付案内、宿舎の待遇(応待)講演の内容について考慮を要す。(2)班別研究会が宿舎から遠距離のところは気の毒だった。参加者の広範囲は一方において深まった意見交換が出来ないきらいがある。司会助言者運営上に問題。(3)連絡協議会、運営委員会の書類配布等の誤り、全体の運営上是非とも必要、印刷物を多く用意して欲しい。(4)職域協議会をきわめて熱心で協力的であった。(5)全体協議会講演は有意義であったが、この大会にふさわしい内容であることを切望する。(より有効)

◇岐阜県(1)班別研究に重点をおいたことは研究大会としてよかったと思う。(2)当事者のご尽力に対し敬意を表する。発表時間が15分では短かった。研究協議内容をもう少し焦点化する。大会日程の枠外で計画し、内容を充実してはどうか。(4)研究大会と分けて行なわれたことはよかった。(5)内容を検討して各都道府県代表に運営全般について説明することは必要だと思ふ。(6)評議員および連絡協議会を同日に計画し一日でまとめるようにしてはどうか。(7)年に一度各都道府県の学校保健会の運営面を出来るだけ具体的にしらべ、それをまとめて地方各保健会に報告してほしい。

クリーンウェット

衛生
お手拭紙

学校給食用 特価50枚入25円。給食1ヶ月20回として 1人10円

学童に清潔の習慣を.....

クリーンウェット

厚生省指定代用消毒薬
「塩化ベンザルコニウム」使用

中小企業庁指定モデル工場
日本工業規格表示許可工場
医薬部外品製造許可工場

合名会社 東予商事

愛媛県川之江市金生町1952の1 TEL (0896) 3456

東京営業所 東京都渋谷区神宮前3/3/9
大阪営業所 大阪市北区空町1/66 宇野ビル
名古屋営業所 名古屋市中区栄町4-6 日陶産業ビル3階
九州営業所 北九州市小倉区五軒屋町宮15

本会 ニュース

評議員会議事報告

日時 11月24日午後1時～3時
 場所 愛媛県庁第6会議室
 出席者 評議員37名
 委任状提出者 10名
 議長 副会長塚田治作
 一、会務報告
 前年度評議員会の議決事項中、その後決定した二件につき報告

1、役員改選
 前回の評議員会で選出した役員選考委員により、理事30名、監事5名を4月1日付会長より囑委があった。その後の理事会で左記役員を互選した。

会長 栗山 重信
 副会長 塚田 治作
 理事長 湯浅 謹而
 常務理事 青山松次他14名
 常務理事中財務担当者
 可児 重一
 永山 芳男
 左記2名に対し、会長より顧問の委嘱があった。
 顧問 内藤蒼三郎
 重田 定正

2、寄付行為一部変更認可
 右の件、昭和42年4月21日付文部大臣より認可があった。
 変更の要点
 ①学校衛生、保健衛生の用語を全部「学校保健」に統一した。
 ②賛助会員の施設 学校保健関係者でなくして、学校保健に理解ある個人または会社等で、主として経済的

に本会事業に協力するものを賛助会員とする。会費は当分次のとおりとする。

入会金 3万円
 会費年額 1万円
 ③個人会員の改正 従来は、本会の目的に賛同するものなら誰でも個人会員として入会することができたのであるが、今回個人会員は学校保健関係者にかぎると改めた。その他のものは賛助会員として入会することとした。個人会員の会費は、当分年額200円とする。

二、議事
 1、昭和41年度事業報告
 2、同 収支決算報告
 3、昭和43年度事業計画案
 4、同 収支予算案
 右4案全部承認された。ただし昭和43年度予算案は、文部省からの補助金200万円を想定して作成されておるので、もし右補助金が国会を通過しない場合は、予算案を再編成して、理事会で審議可決するむねの諒解を求め、これが承認された。

学校保健団体連絡協議会の開催につき事情説明あり、承認された。

昭和43年度 全国大会準備協議

第一回
 日時 12月25日午後1時～3時
 場所 本会及び文部省
 出席者 文部省学校保健課長他 岐阜県保健体育課長・同 学校保健会長他 本会副会長・理事長他

第二回
 日時 1月15日午後1時～3時
 場所 本会

出席者 岐阜県側及び本会側
 昭和43年度全国大会開催日は、11月22日(金)から24日(日)と内定している。詳細については次号に掲載する予定である。

小林秦朔氏逝去

去る12月31日、中風再発により逝去された。79才。同氏は学校薬剤師会の大先輩、深い学識と特殊の技術をもたれ、多年本会理事として、また広く学校薬剤師界で活躍され、とくに学校保健法の草案作成及びその国会通過について非常に努力された生前の功勞により従五位勲四等を追贈された。

学校保健用品の 薦推公告

左記の品目につき、学校保健用品として適切であるむねの推薦状を交付した。

一、クリーンウェット(新規)
 愛媛県川之江市 東予商事

1、用途 学校給食用消毒手拭紙
 2、規格及び形状 13.5×17.5cm
 50枚ポリエチレン袋入
 60袋1ケース

3、学校渡し価格 1袋25円
 4、特色 特許許可品目である。逆性石鹸を十分にしみこませ、形が大きくハンカチ大で紙質が極めて強く、使用中に破れる心配はないから、小学校低学年の児童も効果的に利用できる。価格も安く、上等の花紙の程度である。

二、レイメイケンコー書見台(更新)
 東京都 藤井株式会社

三、レスバッグ(更新)

救急用人工蘇生器
 東京都杉山元医理器製作所

四、ローリング式ライオン歯刷牙
 ダイヤフッソライオン(更新)
 東京都ライオン歯磨株式会社

五、アンネニューパンネット
 アンネニューナブキン(更新)
 東京都 アンネ株式会社

六、日曹ハイクロン
 東京都 日本曹達株式会社

七、三共エームス簡易試薬(更新)
 東京都 三共株式会社

後編集
 本号は松山の全国大会報告を主とした。大会の出席者は全国的にみればほんの一部の人であるから、出席されない方々のために大会のアウトラインだけでも伝えたいと思ったのであるが、何分にもスペースが少なく、十分に目的を達せられないのは、残念である。

歯をカタくする新〈フッソ歯磨〉

★安定性のたかいモノフロを配合。歯質を強くして、ムシ歯を強力にふせぎます
 ★スカットした味の異色のフッソ歯磨です



ダイヤフッソライオン
 90グラム 120円
 小中学生にはジュニア・ダイヤ